



イマジン ロータリー

WEEKLY REPORT

No.30 2023.3.6 第3148回

例会日：月曜日 12:30 会場和風会館「ふかまつ」

事務所 〒939-1332 富山県砺波市永福町6-28 砺波商工会館3F

☎0763-32-2610 📠0763-32-6478

3月のロータリーレート

1ドル 136 円

e-mail:info@tonami-rc.jp

URL:http://tonami-rc.jp

クラブ方針 ロータリーを楽しもう！ いつでも夢を！ いつでも微笑みを！

Enjoy Rotary! Always dream! Let's smile anytime!

【2/27の例会プログラム】卓話者：上野 貴紹君

★開会点鐘 ★ロータリーソング『日も風も星も』

★来賓・ゲスト紹介・・・無し

★会長の時間 ～小竹正記会長～

冬はどこへ行ってしまったのだろうか？と思うようなポカポカ陽気です。先週の3RC合同懇親会も多数の会員の出席があり、とても楽しかったですね！24日でウクライナ戦争が始まってから、丸1年になりました。今年中に平和が訪れてほしいものです。先日のトルコ南部大震災に際し、ヤロバRCへお見舞いのメールを送ろうとしたところ、ヤロバRCのホームページはおろかメルアドも判らず面食らってしまいました。トルコ友好協会の余西孝之会員・飯田会員・堀田会員がトルコ大使館に問い合わせたところ、ようやくメルアドが判明し、近江清会長エレクトにお見舞いメールを作成してもらい、送付してもらうと、1日を待たず直ぐにお礼メールが届きました。（下記参照）これぞロータリーの国際奉仕という思いです。ご苦労かけました会員の皆様、有難うございました。語るべき話題が豊富な昨今ですが、最近「chatGPT」が話題になっています。ChatGPTは、OpenAIが2022年11月に公開したチャットボットで世界中ですでに1億ダウンロード近くされているというロータリアン必見のアプリです。テキストメッセージを入力すると、それに応じた答えを返してくれるAIで、簡単な質問だけではなく、文章の要約や、小説や詩の創作、英文の翻訳など、さまざまなことに使えます。驚くべきことは、これで論文を作成すると、AIが創ったものか、人間のものか大学教授にも判別できないそうです。大学の卒業論文や簡単な（いや難しくても）挨拶作成はこれでOKということで、いやとんでもない世の中になりましたね！会員の皆様も是非チェックしてみてください。

★ビジター紹介 ・本日のビジター・・・無し

★幹事報告 ～石崎弘毅幹事～

次回例会は3月6日(月)通常例会です。例会前11時15分より理事会を開催します。

★委員会報告

・第1回クラブ国際奉仕委員長会議(2/26(日)開催)出席報告

～五島正樹国際奉仕理事～

Zoom開催で、地区国際奉仕の現状と報告がありました。国際奉仕委員会では、プロジェクトの計画や補助金について計画を立てているクラブへの協力や人材紹介などを行っています。

・ヤロヴァRCについて ～堀田信一長期計画友好クラブ委員長～

2/20の臨時理事会で、ヤロヴァRCへトルコ地震義援金として

10万円を送ることが決まり、メールで連絡を行いました。



【お見舞文】

この度の地震災害に心よりお見舞い申し上げます。私ども姉妹クラブ砺波ロータリークラブは、日々の災害報道を見るにつれ、支援の方法を模索し、去る2月11日12日に募金活動を実施しました。砺波市トルコ交流協会を通じ、日本トルコ大使館に募金を送付させていただきました。また追加支援が決まり次第ご連絡申し上げます。砺波ロータリークラブ会長 おだけ まさき 代筆 副会長 おうみ きよし

【返事】

親愛なるトナミロータリークラブ会長小竹氏、
私たちはあなたが過去にヤロバへのトナミロータリーとして提供した支援を決して忘れません。私たちはいつもあなたの存在を私たちの側で感じます。トルコの地震は巨大で、私たちは何千人もの人々を失いました。私たちはあなたが大使館に提供した援助にとっても感謝しています。
多くの人が地震ゾーンから私たちのヤロバ州までやって来て、彼らは新しい生活を確立しようとしています。ロータリーファミリーとして、私達も同様にサポートを提供しようとしています。このプロセスでは、私たちのロータリアンのためにやるべきことがたくさんあります。地震の犠牲者の利益のためにあなたが送るサポートを使用することができます。次の会議で提案を評価し、できるだけ早く必要な詳細とアカウント情報についてお知らせします。
事前にどうもありがとうございました、
愛と敬意を持って。
クラブ会長 BanuDemirören

子・隣人・社員等・・・出生数(感染を警戒して出生を控える・・・)恋愛や友人関係(将来に対する不安)急激な円安や物価高←コロナが落ち着いた 66.6%急激円高になり輸入品が品薄傾向。労働力の減少、(そもそも労働力の課題はあり、コロナでさらに深刻になる)対人接触型のサービス業を中心にコロナ後の就業者数の戻りは鈍いといわれているが実感はどうか？人手を要するサービス業で労働力の回復が遅れるなら、新たな生産(供給)の制約となり、各種諸物価の高騰と雇用コストの上昇を価格に転嫁する動きも進むでしょう。反面、コスト上昇を価格に転嫁できない企業、転嫁要請を受け入れない企業は業績が下がるといわれている。転嫁要請を受け入れないとどうして業績が下がるのか？(企業や人が離れていく:帝国データバンクコメント)士気・覇気が無くなり閉塞的になる。コロナの後遺症(ロングコビット)に悩まされている方々も多い。(臭覚・味覚障害・発熱・咳・倦怠感(ベットから起き上がれない)や思考力・集中力の低下等があげられる。表に出ない、早期治療と症状の理解が必要、周りの方々の理解と協力も必要とされています。医療機関の受診を控えている。過度な受診控は健康上のリスクを高めてしまいます。2人に1人はかかるといわれている「がん」も早期がんは無症状であることがほとんどです。定期的に検診やがん検診を受けることが、生活習慣病予防や、がんの早期発見、早期治療に繋がることを改めて認識しましょう。赤ちゃんの予防接種も重要です。各種の予防接種のタイミングも感染症にかかりやすい年齢などをもとに決められていますので過度な警戒をしない事が求められています。●コロナ禍における社会的後遺症への対応についてどうしてもマイナスなことばかりが目につきがちなのこの社会情勢も、新たな進化の為に与えられたチャンスと捉えたい。(ピンチ→チャンス)コロナ禍の3年間で感じた事を学びに変え、今こそ自身の役割を認識し発揮する時期にさしかかるもの・・・現状認識と、近未来の想定をしっかりと見据える事。世代交代・若い世代の登用・新技術・文化・IT等の導入と言われていますが・・・●実践世代(経験を重ねてきた我々世代)の自信の再認識・先人の知恵を継承する。(勤勉・休まない・我慢・がむしゃら・人情味・愛情・根性・決断力・協調性・・・を今こそ発揮!!若年層には移り変わりの早い時代に、このことを実感できない事が多いのではないかと実践世代の我々が一步下がって今こそ彼等・彼女等に自ら寄り添い、自ら現場に出向き、共に成長を望むことを怠ってはいけない!!ということの皆様をなりのふりや姿勢やお言葉で感じるもの、次世代にそのことを伝える役割が我々にはあります。既にこの難局に臨んでいるわけですが、混沌とした日常社会の中で、ウイズコロナの方向は回復基調に向かっていると実感できるなら、チャンスを生かすため、本来持ちうる「人としての本質」をさらに発揮するよう努めたいと思います。これだけの仲間や知人、友人・恩人がいるのだから・・・

★出席報告 ～芝田 聡親睦活動委員～

本日の出席率 35/45 77.78%
前々回の修正出席率 38/46 82.61%

★卓話の時間

卓話者:上野 貴紹君

テーマ:コロナ禍の3年間に思うこと

本日北日本新聞報道145人前週日曜日より7人増。23万4110人(人口101万人23%)。



この3年間で失ったものは多い。まずは多数の生命。失ったものは多いが、生き延びた者(大げさな表現です)には得たものもあつたはず。それは何か、を数え上げ、それをこれからの社会でどう活かしていくか、我々には考え実行していく責任があるのだと思います。コロナ禍の贈り物、今後の社会への大切な遺産として、活かしたいということは皆さまも一緒に感じられることと思う処です。コロナ発症当時は・・・マスクや消毒液等感染の予防に必要なものが買えなかった。・親や友人など会いたい人に会えなくなった。・一日中家で過ごすことが多くなった。・仕事や学業が滞った。・収入が減って生活が苦しくなった。支出が増えた。・自分や家族、社員や同僚のことを気にした。心配した。(他人の感染も気になった)当時は感染拡大防止により人々が対面したり、大勢が集まったりすることが難しくなり様々な行動や活動様式が変化し始めた。コロナ禍で耳にした新たな言葉・パンデミック(感染爆発)・ソーシャルディスタンス(適度な距離を保つ、社会的な距離を保つ)・エッセンシャルワーカー(必要不可欠な労働者、医療・福祉や保育・運輸・物流・小売業・・・公共機関等・・・医療従事者の印象が強い。)不動産業者はどうか？・SNS(Twitter,ライン、フェイスブック・インスタグラム等)急速に発展した・・・ソーシャルネットワークサービス(人と人の交流を手助け、促進するためのインターネット上のサービス。)コロナ禍 中盤にきて・・・オンラインが活用されるようになりました。飲み会まで会場に集まった参加者(リアル)と、インターネットでの参加者(オンライン)との混合型会議が当クラブでも実践されました。(新型コロナウイルスの影響で加速度的に普及した。働き方改革(テレワーク在宅勤務含む)(オンライン会議)増えた。(オンライン会議の在り方の見直し)コロナ禍以前から必要に迫られて一気に普及したコミュニケーションの在り方。テレワークの普及⇔チームワークや協同参画の機会が減った。画の機会が減った。(チームワークやコミュニケーションの衰退・情報共有の進め方を再考)コロナ禍 昨年から今年にかけては、買い物に行く・外食をする・散歩や運動をする・友人に会う・旅行をする・映画やスポーツ観戦などに行く等少人数での活動が行われるようになった。最近では各種セミナーや会合などが100人規模を超えて行われるようになりました。振り返ると、適応能力と生存本能 生物(我々)は本能として変化を嫌いますが、コロナ禍の急激な変化を強いられ今までの環境に抵抗を覚えながら、環境に適応能力が高い生物だという事を実感できたのではないかと思います。新たな課題(コロナ禍における社会的後遺症への対応について)若者の不安解にどう取り組むか？孫・子供・娘・息

3月6日(月)本日の例会

卓話者:加藤武志様 依頼者:横山由美君

【今後のプログラム】

- 3/13 (月) 卓話:野村和輝
- 3/20 (月) 職場訪問
- 3/27 (月) 卓話:金木春男

【各RC例会変更】メイクアップにご注意ください!

- 高岡万葉RC 3/10 (金)⇒例会取消
- 高岡西RC 3/8 (水)⇒IMIに変更
- 3/15 (水)⇒休会
- 3/29 (水)⇒高岡北RC合同懇親例会の為、変更
- 高岡北RC 3/20 (月)⇒例会取消
- 射水RC 3/21 (火)⇒例会取消
- 氷見中央RC 3/10 (金)⇒場所を変更
- 3/31 (金)⇒夜に変更
- 氷見RC 3/9 (木)⇒例会取消
- 3/23 (木)⇒例会取消
- 小矢部RC 3/7 (火)⇒時間・場所を変更(make up可)
- 3/21 (火)⇒例会取消
- 小矢部中RC 3/9 (木)⇒職場訪問例会の為変更
- 3/16 (木)⇒会場を変更